

第6号

# 熱田高同窓会報

発行  
愛知県立熱田高等学校  
同窓会事務局  
TEL (052) 652-5858



## ご挨拶



同窓会会長・一回生

佐々木 元彦

同窓会員の皆様方におかれましては、益々お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。阪神・淡路大震災の被害から、はや一年が過ぎ去ろうとしています。被害を受けられた同窓生各位には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い力強い復旧をお祈り申し上げます。

この四月に、四二〇名の第四十一回生の新会員を迎えますと、会員数約一万八千名余となります。本会では会員名簿の充実を常に心掛けていますが、種々の連絡不行届きの点が多々あると推察いたします。この会報を通してご鞭撻いただければ幸いです。前号でも、お願い致しましたが、会員名簿の不明者の中に知人や知人の名を発見されたら、ただちに新住所・電話番号・勤務先の社名等を、事務局へご連絡いただければ、後日、彼又は彼女から感謝されるであろうことは間違いありません。会員名簿をご覧いただくと、一部の回生ですが、クラス幹事が不明で、ますますの会員の先細り現象を起こします。危機的な様相のクラスもございませぬ。どうぞ、どうか遠慮なさらずに幹事を名乗って、おおいにご尽力ください。

法と思います。多数の情報提供をお願い申し上げます。願わくば、年二回の会報発行に皆様とともに頑張ってください。

創立四十五周年には、第一回生は還暦を迎えます、新卒の皆様との年齢差を埋め得る、新しい企画やアイデアを提案していただき、創立五十年・六十周年の将来を見通した一つの道筋となるものに、同窓会活動を会員の皆様と一緒に考えねばならない時でございます。

このたびの同窓会報六号は、平成七年度一、〇六〇口の基金を協力いただき、全会員へお届けできることになりました。これもひとえに会員各位の会報基金へのご理解とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。また、平成八年度も引き続き会員諸氏の大きいなご協力をお願い申し上げます。

「亥歳は荒れる」との諺とおり、平成七年は、一月十七日の阪神・淡路大震災から始まり、地下鉄サリン事件、オウム事件、経済不況、金融機関の不良債券、沖繩問題と数々の、戦後五十年を統括するような暗いニュースや大事件が発生した激動の年でした。今年こそ二十一世紀を迎えるに相応しい、明るく幸多い、一年となるよう努力しましょう。

おわりに、皆様方のご健勝とご多幸、母校の発展を願ひ実りある一年となることを祈って年頭のご挨拶とします。

平成八年正月元旦



# 創設期の思い出

第四代校長 日比野 文一

私は創立二年目の昭和二十九年四月から四十九年三月までの間に、前後二回に亘り、教諭・校長補佐・校長として熱田高校に勤めました。創設期の三十年前後は、先生方はほとんど二十代・三十代で、しかも生徒数も少なく、「既設の伝統校に追いつけ追い越せ」を合言葉に、教科の指導は勿論、課外活動や学校行事でも細かい指導に徹し、新しい伝統づくりに励んだものでした。

その頃、私が直接関わった思い出を二つ。その一つは、「野外巡見」の実施。私の担当した教科目は、「人文地理」。教室の講義のみに止まらないで講義を深めるために、しばしば希望者を募って野外にでました。行先はいくつかありましたが、その第一が木曾・長良・揖斐三川下流の「輪中地帯」。船でパナマ運河方式の「船頭平閘門」を通り、木曾川と長良川の間の水位差を実感したり、日本一小さい「福原輪中」で、分校唯一人の先生から輪中の生活についてお話を聴いたり、「治水神社」に参拝し「千本松原」を歩いて、先人の「三川分流工事」の偉業を偲びました。また、近鉄養老線の「駒野」から北勢平野の「阿下喜」まで「養老山地」の山越えをしたこともあり、ここには、東側の「扇状地」「断層崖」西側の「河岸段丘」について、その地形と土地利用の観察を試みたものです。さらにまた「鈴鹿

山脈」まで足を延ばしたこともあり、近鉄湯の山線の「孤野」で下車し北へ歩き、「朝明扇状地」の地形・土地利用・集落地を観てから、「朝明溪谷」を溯って、極めて小規模の「千種発電所」を訪れ、水力発電の仕組みを学んだこともあり、思い出の二つ目は「水泳訓練」の実施。現在のプールは、昭和四十二年に建設されたもので、それまではプールが無かったので、ところどころで戦前旧制中学や高等女学校では、夏休みに一週間から十日間位、臨海の「宿泊水泳訓練」が実施され、私も学生時代に水泳教師として参加した事がありました。熱田高校も学校行事として「水泳訓練」を行うこととなり、第一回を三十年の七月下旬、一年生の希望者を対象に、三泊四日で実施したので、場所は伊勢の「千代崎」、宿泊は旧制市一高女の同窓会「松操会」の海浜宿舎を借用。その頃はまだ「公害問題」の起る前、海もきれいで、「白砂青松」の美しい海岸でした。毎日午前午後二回、宿舎を出発、畑に利用されている海岸砂丘を通過して海岸に出掛け、約二時間泳いだものです。引率は、一年の担任、水泳の指導には、私と名郷先生(書道講師)が当りました。なおこの行事は、伊勢湾台風のあった三十四年の夏まで五回行われたと記憶しています。

平成八年一月六日記



水泳訓練 31年7月

## 学校だより

### 変貌する熱高

教頭 新谷 富生

同窓生の皆様、明けましておめでとうございます。

新年にあたり、この一年にかける抱負・決意等様々なものがあるかと推察致しております。その中に熱田高校に対する思いを少しでも持って

戴けたら、在校生・教職員にとっては大変幸せに感ずるところです。赴任して三年目になりますが、本校の様子がここ数年間と比較して、今年度は大きく変わった年であったと思います。旧体育館が八月末には取り壊され、三月末までに多目的コートに生まれ変わります。定時制の給食室が一月中には取り壊され、それに変わる素晴らしい給食室兼食堂を、現在図書館の南側に建設しています。この工事に伴い使用不可能となった更衣室、自転車置場を新設します。更衣室は多目的コートの北側に、自転車置場は取り壊した給食室の跡地とプールの南側に、三月末までに完成する予定です。また、足洗い場を三棟西側に新設します。さらに、グラウンドの排水工事も三月末までに行われますので、校内の至る所が工事中の状況になっていきます。校舎そのものはなかなか手を加えることができませんが、周囲の環境は大きく変わりますので一度訪れてご覧になってください。

私は現在までに四校を経験してきましたが、常に「勤務している学校を母校」と思い、生徒の向上と学校の発展に少しでも関わることを目指してきました。おそらく全ての教職員もそのように考えていると思います。ましてや、同窓生の皆様にとって本校は真の母校ですので、その思いは一層強いものがあると思います。それぞれの立場で暖かいご支援をお願い申し上げます。

平成八年一月九日記



# 熱田高校の五年間

第六代校長 櫻井 梅弘

会報五号にあった航空写真を見て懐かしさ一入です。この校舎には、山盛りの思い出があります。

五十三年着任早々県教委より校舎の視察がありました。管理課の係員は「改修すべき箇所が多いですね」と言われて帰られました。一ヶ月程して「今年度より三ヶ年計画で校舎の全面改修をします」との連絡がありました。喜んで一刻も早く、職員会議に報告すると、意外にも反対の声が多く出されました。理由は学校で独自に作成した整備計画に沿っていないとのことでした。時間をかけて説明しやうと理解を得ましたが、厳しい就任のスタートでした。

工事は、柱も壁も両側より中心までの三分の一を削り取るという大工事でした。学校として早急に騒音対策を立て、教室の移動をしましたが、工事は予想以上の騒音を伴うものでした。その環境の中で勉強ですが、生徒諸君はよく理解して頑張ってくれました。学校は明るい将来さえあれば、一時的な困難な局面に立っても全員緊張して対処することが出来ることが分かりました。

学習面は勿論、生活面でもそれが現れ、あの騒音なかで進学の成績も下げることなく、過ごし得たことは救いでした。

次いで五十五年には、待望の体育館の建設となりました。先生方、PTA、後援者の方々が丸となり、力を尽くし、立派な体育館が出来上

りました。二つの体育館を持ち、多面的な教育活動を行うことが出来るようになりました。

ところが思わぬ落とし穴がありました。新築ですから付近の方よりの訴えが次々とありました。電波障害、騒音公害、体育館よりの振動公害、砂公害等です。その対策に奔走する日々が続きました。しかし、このことは以後の学校運営の大きな教訓となりました。これで私も十年間連続して学校の建築工事にかかわる結果となりました。

建築も順調にすすみ、生徒諸君も誇りと希望をもって学習に励んでくれ、喜んでいた五十六年の秋のことです。体育祭の職員リレーで、ラグビーボールを蹴って走っていたとき、アキレス腱を切ってしまった、学校に大変な迷惑をかけ申し訳なく思っています。

今一つ熱田高校で忘れられないのは定時制の思い出です。毎日困難な条件のもとで通学し、必死に励む姿を見る時、目頭が熱くなりました。夜、給食をいただいた日が多くあり、ひとりひとりが印象に残っています。特に高年齢の方達が学ぶ場を求め、職場から通われる姿には胸を打たれました。

卒業式、謝恩会でその厳しかった思い出を述べられる時は、定時制の存在意義を心の底より感じました。

平成七年十二月二十日 記

# 定時制に思う

定六回生 大沢 利尋

熱田高校に定時制が併設されてはや三十年が過ぎようとしています。私が卒業したのは今から二十一年前、旧体育館での卒業式でした。年に一度、同窓会入会式のために母校にお邪魔をしています。私が在籍していた頃に比べると体育館が新築され、校舎が改装され、学校も私自身が年を重ねて少しずつ変わっていくのと同様にその年輪を刻むものと改めて思い起こされます。

校門をくぐると、懐かしさとともになにか心安らぐ気分になります。と同時に学校で体験したことが脳裏をかすめます。蛍光灯の下で眠い目を擦りながら授業を受けたこと、薄暗い照明の中でサッカーをしたこと、体育祭のためにマスケットを作ったこと、当日雨天で体育館で体育祭が敢行されることになり、せつなく作ったマスケットが、何の役にも立たずに終わってしまったことなど、走馬燈のように思い出が巡ります。

決して恵まれた教育環境とはいえない高校生活でしたが、その経験は掛けがえのないものとして心の中に深く刻まれていきます。そうしたこと母校の持つ良さではないかと思えます。

定時制は現在の進学校にみられるような受験のための学習は、ほとんどありません。そのような教育は現代の教育情勢からみれば特殊なものかも知れません。しかし、教育本来の目的を實踐しているのではないでしょ

うか。四年かけて卒業式を迎える生徒の顔は、充実感に満ち溢れていると思います。そのことが将来、母校を愛する気持ちとなって表れてくることと思えます。

しかし、定時制を希望して入学する生徒は毎年減少し、平成八年度は母校の募集人員がついに一クラスのみとなってしまいました。生徒数の減少が定時制にも及んできたことを痛感しています。

さて、話題を変えましょう。以前の会報にも書きましたが、二回生のをばり万造(谷口義美)さんの所属する劇団阿修羅の後援のために、一回生から六回生までの有志十人程集まり、会合を開きました。そのなかで、定時制が併設されて三十周年を迎えるにあたって、定時制会員だけが上がり、また、前田先生、塩谷先生、小桜先生にもご指導を賜り、会を持つにあたっての、様々な問題点をどうクリアしていくかを検討しました。しかし、まだまだ解決しなければならぬ問題点も多くあります。会員の皆様方のご意見を聞かせていただけると幸いです。

最後に、母校のますますの発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍をお祈りします。

## 章 堂



品格ある人間  
気力ある生活人  
健康なる日本人





熱田OBの思い出のアルバム

四回生 江村 雅夫

思い起こせば、昭和四十九年三月三日中部国際GCにて、①回生三名・②回生四名・④回生七名・⑤回生一名の十五名四組でのゴルフコンペが、熱田OBゴルフ会としてスタートしました。あたかも田中角栄政権の末期、ニホン列島改造計画ブームの史上最高の頃で、ゴルフも今日ほど大衆的なスポーツでもなく、メジャーな遊びでもなくゴルフブームの幕開けの頃に、佐々木元彦①会長の呼び掛けで始まりました。第一回のプレー後、この会の今後の方針を話し合い、年二・三回の開催を目標とし、また、働きざかりの我々としては、日曜祝日に開催と、会費はできるだけ安くなどの事を決めました。以来今年で二十余年、四十八回の回を重ね、参加者総数も延べ一、四一三名になる程の会に成長し、こんなに続くとは当時の誰もが思いもかけないことでした。

初期の頃、ゴルフ場の確保もままならず、知多CCCクラブチャンピヨンの金城正男③君のお世話でスタートを取ってもらったり、より安くと広幡GCのパブリックコースを、森田伸⑦君が早朝というより、前夜より並んでスタートを取って頂いたのも、九回の多くを数えています。

第二十回目の記念大会は、昭和五十五年九月二十一日、一泊ゴルフの下呂CCでは、数々の忘れられない思い出多い(内緒)ゴルフとして、今も語り草になっています。



平成5年5月5日 中日CC撮影

昭和五十九年四月、村井忠宏③君のホームコース平谷高原CCへの遠征ゴルフは、素晴らしい新車の大型バスで意気揚々と乗り込んだのは良かったのですが、スタート直前からの突然の豪雨で、ゴルフ場が大河の如くの激流でハーフのみにて中止。

パーティあと、コース方より「とうもろこし」のお土産を頂いてコースを後にした思い出もあります。第三十回目の記念大会は、昭和六十年八月十四日、どうしてもハンディ戦で勝つ事の出来なかった、佐々木元彦①会長の鶴の一声で、ダブルペリヤ戦になりました。唯一回のチャンスに見事優勝した会長は、さすがにダブルペリヤ戦の鬼でした。この頃から、年二回の開催日を五月五日と八月お盆の十三日・十五日と定め、現在も継続しています。

ゴルフ会、四十八回の開催コースのうちBestスリーは、中日CC十七回・広幡GC九回・三好CCと知多CC四回となっています。またゴルフファイトとって夢ともいわれるホールインワンは、小林勝治⑦君が多治見CCで、有滝光男④君が広幡GCで達成されました。

尚、会への参加回数が多い人は、四十一回の江村雅夫④、次いで三十九回の田中省三④君、三十八回の有滝光男④君、三十七回の豊田和弘④君、三十四回の牧野輝三④君がBestファイブです。ついで、優勝回数は、三回江村雅夫④、二回は、石川昌平①・植田照男②・岩淵正憲③・小島治夫⑥君など十一人の皆様がい

ます。最後に、誠に残念ながら我がらの仲間で、金城正男③・楳村泰延④・西山孝朗⑤・西秀樹⑦君の四名が他界されました。ご冥福をお祈りします。

この回は、多数の皆さんのご協力により、まだまだ続くことと思えます。我もと思われる方はお問い合わせください。平成八年一月十日記

平成七年度教職員消息

本校で長年にわたり、ご尽力いただいた方々が去られ、名残惜しい気持ちで一杯です。厚くお礼申し上げ、今後の益々のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。代わりに新進気鋭の先生方を迎え、これからのご活躍が期待されます。

【退任】敬称略(在職年数)

- 中川 信平(7) 教頭・退官
片山 真一郎(3) 教頭定時・退官
小川 敬子(18) 数学・退職

【転出】

- 太田 祐嗣(9) 体育・鳴海高
福田 健治(8) 理科・惟信高
藤井 勇(7) 数学・一宮西高
細溝 典彦(2) 社会・教育センター
富田 三男(3) 事務・教育サービスセンター

【定時制】

- 松林 猛(6) 社会・第二愛知工高
北河 俊哉(3) 英語・津島高
中澤 保裕(3) 事務・教育サービスセンター

【転入】

- 巨 明彦 教頭・守山高
二村 雅之 社会・中村高
山田 和弘 社会・守山高
佐藤 雅信 数学・第二愛知工高
松浦 英治 数学・名南工高
川崎 傑子 理科・明和高
北川 英俊 理科・惟信高
浜島 紀明 事務・美和高
大久保 忠 事務・新任

【定時制】

- 上田 靖彦 教頭・津島東高
山田 章二 数学・南陽高
松橋 政人 体育・児玉高
村松 茂 英語・旭陵高
(文責・学校幹事 高岸郁夫)

# 阪神大震災 一周年

## 「助かった」同期生三人



六回生 南形 徹

震度7の烈震が、阪神間を襲ったあの日から、一年が経った。神戸は今、被災ビルの解体が進み新しいビル建設も始まって町中が工事現場のよう。復興へのすさまじい熱気が、満ち満ちている。二年もすれば再生した町が姿を現すはずだ。

だが、一時は廃虚と化した三宮周辺に、かつての情緒が戻るのはいっになるだろう。「名古屋の町もそうだったなあ」。活気はあるが、殺伐としたトアロードを歩きながら、伊勢湾台風で被災した時のことを思い浮かべて、何かわびしさかられる昨今だ。

三宮がめっちゃめっちゃだ

あの時、私は二階で寝ていた。突然の閃光と地鳴り。家が躍り出したような激しい揺れ。家具が倒れ、建物がきしみ、ベッドごと宙に舞い、ダメかなと思うこと暫し、揺れは止んだ(ああ助かった)。妻と声をかけあい、暗闇の中で家を点検する。大丈夫のようだ。愛犬サクも異常なし。ほっとして車のラジオをつける。大地震発生を報じている。

「えらいことや。大ニュースや。号外を出さねば」。妻の車で家を飛び出し大阪にある会社へ向かった。



傾くビル。2時間後に倒壊した。神戸の三宮で。(95.1.17日 午後7時)



倒壊した民家が道路をふさぐ (95.1.17日 午前8時30分 神戸・東灘区で)

わが家は六甲山系をはさんで中心街・三宮の北側になる。三宮まで出れば電車かタクシーくらいあると思っただが、長さ七キロの新神戸トンネルを抜けて愕然とした。景色が一変しているのだ。ビルが傾き、道路が波打ち、車も走れない。阪急三宮駅ビルが壊れ、JRの高架が崩れている。そうデパートが縦に裂け、銀行ビルもペシヤンこだ。

電車どころではない。がれきを縫うように東へ走る。灘、東灘、芦屋。阪神の高級住宅地がめっちゃめっちゃだ。電柱が倒れ、崩れた民家が道路をふさぐ。歩道に横たわる老人、けが人。助けを求める母親。泣き叫ぶ子供。あちこちで火の手が上がり猛煙が空をおおう。消防車はどこだ。救急車はないのか。車の窓からカメラのシャッターをきるが、とてもじゃない。写

真なんかに収まりきれないものすごさだ。ラジオのニュースがもどかしい。目の前の惨状を伝えていないのだ。新聞社へ状況を知らせようにも公衆電話はまったく使えない。車はどんどん増え、一〇〇メートル走るのに一時間かかるほどの大渋滞。脇道に逃れても状況はもっとひどい。なんとか会社社にたどり着いたのが午後四時。飲まず食わずで十時間かかった。折り返し車で帰った妻は夜十時になったという。

以後、夜も昼もない新聞づくりを追われ、帰宅できたのは一週間後だった。

### 伊勢湾台風でもやられた

十日ほど経って、熱田高校の同期生に電話が通じた。尼崎の川口雅子さん宅は落下した新幹線高架の近く。家中の家具が吹っ飛び、危うく下敷きになるところだったが、家は倒壊を免れ家族も無事だった。明石の山内保子さん宅は震源地・淡路島の対岸なのに、コースを外れたのか家具類がめっちゃめっちゃになっただけで事なきを得た。

三人とも、高二の時の伊勢湾台風では家がやられ、熱田高校の体育館などで避難生活をした経験があるので、お互いに無事とわかって思わず声も弾む。

「よかった。よかった。よく二度の大災害を生き延びたなあ」と好運を喜びあった。

(読売新聞記者)

同窓短信

十五回生同期会一〇三人が集う...

十五回生

伊藤 大英

卒業後二十五年を迎え、十五回生の同期会は去る、平成七年八月十三日厚生年金会館にて、参加一〇三名を数える盛大な開催となりました。遠く離れば離れるほど、懐かしく思い出されるのは母校のこと、友達のこと。海外から馳せ参じた友もあり、

最初は「確か〜さんですね」という挨拶から始まる光景もあちこちでみられましたが、すぐに昔にかえりうちとけていました。先生方もA組担任の二村鉄男先生をはじめ、十名余のご出席を賜り有意義な時を過ごす事ができました。平成四年の第一



平成7年8月13日 厚生年金会館撮影

回の同期会以来、幹事の努力で級友の消息もかなり判明し、今回の盛況をみました。思えば、一番多感な時期を共に過ごした仲間同志、時のたつのも忘れていつまでも語り合うことができたことは、何にも増してすばらしい思い出となります。母校という絆を通して、また新たに交情を深められた方もあったようです。時間の許す限り大いに盛り上がりました。

最後に、音楽の秦先生指揮のもと全員で校歌を合唱し、再開を約して幕を閉じました。次回の同期会には、より多くの方のご参加をお願いし、クラスの幹事の皆様のご尽力と協力に心よりの感謝を申し上げます。ご出席いただいた先生方(敬称略)

- 二村鉄男、安藤威夫、小鹿信由
- 稲垣健一、三輪欣也、服部 需
- 富田勇夫、秦 賢吾、今西英雄
- 八谷芳樹、小室祐子

第十二回 同期会のご案内

代表幹事 今井 康幸

同期の皆様へご案内します。C組は、卒業後毎年のようにクラス会を開催していますが、ここ三年程前から他のクラスの皆さんにも呼び掛け合同で同級会として開催するようになります。平成七年度は、八月五

日(土)に開催し多数の仲間と語り合うことができました。さて、平成八年度は、五月頃の土曜日開催を予定して幹事一同準備をしています。参加を希望される方は、幹事までご連絡ください。日時・会場等々が決まり次第、案内状を送付させていただきます。多数の同期の皆様参加をお待ちします。

連絡先 ○五二―二六二―〇七二八

送り出そう国会へ

……木村隆秀君の魅力……

十九回生 寺岡 洋一

私は木村君と同級生ですが、大学卒業後、十年ぐらい経ってから、名古屋青年会議所で出会い、次いで中川法人会青年部で会い、共に私が先輩でしたが、熱田高校の同級生として気軽に声をかけて、以来親しくお付き合いをしています。彼の魅力は、何と言っても飾らない暖かい人柄だと思います。名古屋弁まる出しの優しい庶民的で説得力のある口調は、男性女性とはずの人気者ですが、中でも中年女性には圧倒的な人気です。私の会社の中川区在任の社員の奥様方で後援会に入っている方もいます。一昨年、前田法務大臣が来名した折、一緒に会食に招いたんですが、その時の彼の態度を見ていて、いつの日か国政に打って出るであろうと感じました。いよいよ国政に向けての準備が新聞紙上賑わっています。同級生・同窓生として、応援します。

クラブだより

硬式テニス部(男子)だより

硬式テニス部は、今年で創部十周年を迎えます。ここ数年、大会で好成績を挙げられるようになり、基本を重点においた内容の濃い練習を、毎日ボールが見えなくなるまで行っています。雨天時や日没後は、筋力トレーやコートトレーニングに励み、一人一人が目標を持ち、練習を大切に、懸命に取り組んでいます。テニスは個人競技ですが、何よりも部としてのチームワークを大切に、お互い良いライバルとして、競い励まし合いながら、技術を磨き実力を一層貯えて、県大会上位進出さらに全国大会出場へと頑張っています。

七年度の主な成績

- ・インターハイ 団体戦 優勝
- ・名南支部予選 団体戦 優勝
- ・県大会 シングルス 第三位
- ・ダブルス 上田幸雄V16位
- 上田幸・角田V8
- 上田寛・加藤V8
- ・市内県立大会 団体戦優勝(三年連続)
- ・新人戦 団体戦 優勝
- ・名南支部予選 団体戦 優勝
- ・県大会 団体戦 V8
- ・文責 マネージャー伊藤美有紀

計報

小島 暢 先生 平7・5・25  
ご逝去に接し、謹んで哀悼をお祈り申し上げますと共に、お知らせします。(係より) クラス幹事の皆様へ  
計報は悲しい出来事ですが、事務局まで葉書でご連絡ください。





バスケット部(女子)

私達は、現在部員数十七名・マネージャー三名で活動しています。毎日、シュート練習を始め数々の練習をしています。旧体育館が取り壊しになり、体育館での練習日数が少ないので、外で基礎体力をつけています。他にビデオを見ながらフォーメーションやいろいろなチームの動きを研究しています。少ない部員数ですが、弱音を吐かず試合にむけて日々努力しています。

秋の大会は、近小差の試合になり苦しい状況に陥りながらも、最後まで粘り続け、念願の県大会出場を果たし、県大会では、ベスト16という成績を残すことができました。

今後、常に県大会に出場し、良い成績を収められるようチーム一丸となり、私達の目標でもある『インターハイ出場』へむけて頑張ります。

先輩方が築いてきた伝統を受け継ぎ、次の代へ残せるよう部員一人一人が力を合わせ、心身ともに成長できるように頑張っていきます。

(文責 マネージャー小島陽子)

### 基金と会報の案内

四号は全会員へ配布。五号は基金納入者へ配布。そして、六号は全会員へ再び配布できることとなりました。基金納入の流れを見ますと、六年度の会員数(住所判明者)は、一万三、一五〇人でしたから、十三%の率でした。七年度は、会費を納入された会員へのみ案内報を送付しましたから、七十二%ですが、さて、今回はどうなりますか。役員の皆様は率先して納入し、未納の会員にも働きかけてください。会費の千円は、過年度分は結構ですから、ご負担くださるご理解をください。会報の送付によって、現在、名簿作成のための情報がよく集まり、正確な名簿づくりのために大いに役立っています。

☆「会報基金」の「千円」は、払込通知票で、最寄りの郵便局より払い込みください。

☆払込通知票には、必ず氏名(旧姓)・回生を記入してください。払込通知票の整理に膨大なエネルギーを使っております。必ず記入を...

☆口座番号と加入者  
〇〇八八〇一八一四三三八四  
愛知県立熱田高等学校同窓会

### 事務局だより

☆同窓会報七号の発行は、九月下旬の予定です。

同窓短信・催し物の予定・活躍している人などの原稿は、左記の要領で事務局へ投函ください。

- 題名・字数(十六字×三十行)
- 写真・回生・文責者名

☆平成八年三月、名簿原本の修正作

業をします。クラス幹事・会員の方、現在発行の名簿に変更が生じている会員をご存じでしたら、左記事務局へお知らせください。(事務局住所・宛名) 千四五六

### 編集メモ

発行にあたり、多数の会員諸氏の協力を頂きました。なかでも、年の瀬のあわただしい折に、日比野文一・櫻井梅弘両校長先生には、たいへん快く寄稿頂きありがとうございます。在任中の懐かしい、思い出話に触れられる会員も、さぞ多いことでしょう。両先生の益々のご活躍とご健康をお祈りいたします。

さて、寄稿は全卒業生を対象にしています。クラス幹事・会員の皆様、同級生の活躍などを、ご紹介くださるよう、諸氏の寄稿に期待します。

★題字 初代書道教諭 名郷紫山 (六回生 万前秀男)

### 会報基金会計報告

(収入の部)	
6年度12月末納入締切り	1,820,000 円
7年度11月末納入締切り	1,063,000
計	2,883,000-a
(支出の部)	
会報5号関係(会費納入者対象)	
発送郵送費(2,898通)	262,000
他の郵送費 13件	86,350
会報制作費 3件	490,078
寄稿お礼 2件	60,500
諸経費 8件	49,989
計	948,917-b
備品としてワープロ購入(東芝ルポ)	212,800-c
7年11月末現在残高 a-(b+c)	1,721,283 円

### 会報基金協力者

〔○数字口数〕

平成六年十一月末

平成七年十一月末納入者一覽

- 〔1〕 佐々木元彦②、塚本好子、隅田武利、前田喜美子、東端昌浩、犬飼増弘、西尾剛、都築節子、磯部美津子、石川昌平、山森しげ子、村瀬勝久、春田繁子、鬼頭達雄、野澤次二子、佐藤八重子、太田信子、安中富一、今井雅恵、茅野文恵、大蔵才子、太田美津子、前田裕彦、中野美枝子、近藤直彦、箕浦良恵、小野昭、大橋公子、竹内洋子、渡辺美都子、加藤朋子、前田隆子②、天野長子、寺島三郎、山田裕、野々垣綱光、石田正敏、加藤千代子、近藤信子、梶田清子、伊藤幸正、土屋勝代、吉川隆、堀江洋子、(2) 丸山ヤウ、沢井美紀枝、横田久彦、沢原文子、垣原ひで子、浮所学、川原英子、片岡瑛子、山田次郎、寺脇千鶴、飯田邦子、熊崎隆久、仙田純子、深谷新一郎、服部英機、橋本奈々子、渡辺恭子、戸谷新太郎、伊藤奇子、坂美智恵、山口美智子、(3) 福本正枝、村上萬里子、平野舞一、亀井豊、小久保吉加、鈴木辰生、野山勝男、岩田尚道、前川英子、浅野康子、永田洋一、大友和子、水野郁恵、丹羽昌良、藪谷俊七、野々村茂子、前田浩子、家田かな子⑤、大橋敏子、村瀬秀子、磯部正、富田富子、加藤国章、林久子、村瀬幸枝、服部つた子、池田福子、木村清、井土とみ子、市原喜布子、岩淵正恵、林みつる、大橋郁子、後藤田津子、宮田義憲、大井弘子、奥村嘉、服部欽治、鈴木鳴美、岩田嘉一郎、(4) 吉田茂樹、杉本文代、嶋田尚代、大前宏子、新実訓子、川口典子、石河忠雄、平野孝次、水野久子、岡田弘、宇佐見種義、鬼頭京子、佐藤鶴代②、村瀬輝彦、片岡和子、田島タミ子、石川喜男、鈴木武子、有滝光男、加藤正尚、中村弘、高橋公子、柴田紀久代、坂本巧、大嶋鏡二、鎌田弘子、吉村一枝、鈴木淑子、堀花子、志水美智子、名倉厚子、小島慶子、高山文子、松山菊江、岡田紘次、福田紀代子、(5) 鈴木淳一、石井嘉子、森田清司、大村雅男、鈴木良男、仲田巧、木全義光、荒井美智子、吉元蓉子、斎藤健、鏡味昭行、西田和子、岡本佳子、春木日出子、岡崎陽子、早瀬まさ子、川本恵美子、和田章、西山紀代②、安藤哲忠、鶴岡昭利、廣江美代子、松井愛子、信耕郁子、柴田雅子、福井園恵、中井照江、前田亜彦②、恒川昭三②、勝川三代子、宇佐美保夫、石浜一幸、早川昌子、榎本輝、井上昭子、小島文三、東通子、梅田暎、高坂弘子、長谷川広子、戸田鎮子、長谷敦子②、岡田浩敬、稲垣頼、新原昭、大屋政和、吉田房

子、福田博子、伊藤元雄、巻木日出子、〔6〕上原洋美、堀殿夫、西崎のり子、長村久美子、村瀬治子、小島治夫、〔7〕南形徹、岩島礼子、安藤光男、齊藤宮子、近藤邦雄、横井文子、鈴木熱子、赤地弘子、服部英男、山口衣子、根津順子、鈴木清弘、平野政頭、飯島保夫、松本東美子、松田宏江、加藤義昭、田辺孝子、近藤廣、北河清子、宇治茂代、城野則幸、小林愛子、清菊美子、山元宜子、三輪金文、横井信正、河合聖三、角田美智子、岡邊輝雄、林桃代、佐々木史子、〔7〕中島健吾、小林功、森田伸、渡辺成澄、彦坂康夫、小林勝治、渡辺光子、加藤信義、田中仁、鬼頭すみ江、早川保子、山田敏子、飯村房子、鈴木秀和、加藤陽子、杉山ヒト子、加藤隆一、中川弘子、倉田勝緒、梅津朝子、山下富江、水谷弘子、島山内枝、石黒威夫、岩田征子、平岡千鶴子、坂井咲子、早川隆二、渡辺明美、佐野愛知、岩川知夫、小井曾進、山井上とし子、郡司祥子、久賀俊郎、吉永初恵、野野雅樹、藤田英子、伊井勝昭、森美智子、片田一之、長谷川泰雄、伊東香津子、歌見美代子、亀田鶴子、朝日博子、藤村孝、津坂節子、石川美登子、下山時子、石田末子、高屋死子、〔9〕細川淳之介、牛島敏子、青山清、深水信子、山田芳和、山田須磨子、平田良子、杉戸美鈴、長谷川茂子、田中均、古田洋子、和田芳明、佐藤尚子、土方菊子、福富孝子、寺井康子、彦坂洋子、森道弘、沼田保彦、西本省三、石黒和夫、赤池晴彦、富田勝幸、小坂井利明、小川正廣、奥村哲人、稲垣光枝、千田芳枝、水野節子、倉地一行、久野定幸、塚田勝比古、田島義文、伊藤忠、橋川三津子、井上尚文、田中夜子、蜂須賀聡太、杉原正晃、伊藤俊治、津久保恵、鈴木晃、西川フサ子、山下光子、吉田さち子、武藤孝子、小島洋子、森島正泰、保坂昌子、安藤一美、西垣英昭、〔10〕小川和子、森瀬久子、内藤明広、内藤義子、森、森瀬泰年、田村絹子、服部節子、服部繁夫、菊田正直、磯村希水子、伊藤眞一、林直樹、西川好子、鈴木不明美、服部洋子、山森則子、柴田文章、伊藤信夫、〔11〕西川勝司、新海規男、岩田吉隆、森元信太郎、高藤原子、小山宗章、堀守康、林玲子、田中和枝、加藤清、長坂孝仁、富田千英子、水野淳子、川村ひろみ、〔12〕木村正博、吉江一泰、酒井豊信、斎藤勇基、黒川邦子、鈴木久子、

小林幸博、鬼頭博、武藤充廣、中西清角、松井悦子、藤森利雄、尾関富信、島岡康平、石川和子、刈谷拓人、森田文一、坪内明美、水野清子、岡谷美矢子、岡田武利、宇佐美修、内山博行、岡頭研祥、今永扶美子、熊沢洋方、山本博子、澤田寿夫、光岡訓子、今井康幸、岡田敏子、田幸博、河原鈴江、坂倉恵子、戸町恭紀、山口葉子、笠原ふさ子、服部千春、植田幸嗣、下浦立子、小井曾進、畑中三郎、服部和義、中山美恵子、〔13〕堤吉郎、居松克幸、福田恵子、山田周一、〔14〕木村正男、坪内正子、浜地利恵、浅野一、山崎正美、服部正利、正司照美、宮本久美子、鈴木秀樹、河上とし江、鬼頭文隆、深谷延子、杉本純子、古澤千賀子、真木伸一、二村映子、小峰茂幸、伊藤純夫、平手建司、鈴木正一、村瀬源市、田中真理子、飯田雪代、牧野裕美、大島洋子、尾中孝枝、佐藤守男、〔14〕北島順人、鬼頭正人、八木誠、子田徳生、山田良一、森下敏夫、多田あさ子、林孝子、丹下裕子、土方慶、猪子幸生、佐藤照代、小林敏、後藤敏夫、岡谷早苗、小林伸充、細野操、預嶋博康、河邊進一、長谷川信幸、古林昭夫、今井信幸、〔15〕上村恭弘、中島一幸、梶田真理子、近藤直弥、内藤守、松本妙子、毛受英彦、柴山哲朗、猪村恭明、後藤正治、安田英司、舟橋延延、松岡秀明、市川建治、市橋正行、中野邦彦、小川多津子、林和夫、佐藤典昭、宮川宏明、伊藤大英、高橋和代、神谷和雄、石島弘高、太田千策子、古橋正博、今西恵子、村瀬八郎、川瀬義彦、澤田雅男、小田真見、大矢潔、浜島敏己、黒部芳彦、島本守、田島晴次、中島彰、竹内徹、大野美鳥、服部桂子、〔16〕山口克彦、森茂己、西川博徳、大谷美成子、近藤博美、小出好秀、吉永明弘、久保田和代、林芳樹、玉田博規、永田幸恵、水谷明美、市野とよ子、武田健治、亀田佳江、石川一修、伊藤尚美、森川一男、中村恵子、〔17〕太田秀則、横地美代子、安井冷子、山本春水、日下節子、横谷清美、鹿島克彦、鈴木正子、朝見文子、那須圭子、吉田光男、西田達良、石田登代子、石田國夫、中川好弘、加藤清、中井康博、小林一三、柿崎賢一、〔18〕戸谷芳樹、橋本淳一、美濃浦紀子、芳、田船吉之、橋本幸之、古田博三、近藤早苗、日高恵美子、松岡正和、澤木美雪、山田雅彦、福田和彦、小出義信、谷山信吉、榎原昌忠、池田仁美、磯部光男、中村高士、小山誠一、新井恵理子、後藤敏行、松崎暁、〔19〕北山正義、加藤泉、三木裕文、中島康藏、前田幸子、西村幸久、直子、伊藤一恵、宇津野明彦、氏原

直樹、篠田久恵、鶴見祥子、大塚淑子、黒石武夫、出原元理、村松洋子、古田博夫、藤橋伸二、犬飼文幹、内田正勝、鬼頭良、伊藤昌弘、藤本充代、木村隆秀、宮田達也、西田玲子、〔20〕稲垣真吾、鬼頭美子、下村常夫、松倉由美子、江坂文恵、尾上重己、内藤幸三、加藤由美子、岩井一免、福岡隆、安藤誠一、松崎道夫、杉本よしえ、〔21〕上村淑恵、岩田広美、尾関由美子、藤井よわ子、小崎光芳、杉浦寿子、福島敦史、岡本伊三雄、水野真一、金子広子、久野貴美子、松原陽子、榎木ユリ、城戸康正、水上勝博、山内裕司、河橋明美、堀田志子、橋本左世古、小神一夫、〔22〕岩中時廣、住田崇見、市川瑞恵、宮脇巳左子、安井たまみ、青山伸彦、水野裕子、吉田一弘、駒井史家、横井裕明、亀田昭雄、餘舛純一、柴田史津、若林ゆかり、井上公美、中野宜夫、浅井敏子、三輪田啓祐、鈴木政司、笠原谷子、水野美穂、〔23〕福井悟、山本登晃、神谷たまき、松沢圭一郎、鈴木仁美、堀正明、大島義彦、松岡雪絵、加藤京子、鈴木正人、柴田一枝、岡田英子、原田恵子、山田八郎、祖父江正孝、近藤久人、千木善博、河合陸人、金藤みどり、阪野忍、大岡伸次、安藤明合、児玉洋美、〔24〕杉村典夫、中西基路、野々部恵利子、井上發英、寺沢信治、斎藤幸代、橋谷晋吾、中林宣紀、長谷川裕子、深谷文喜、芳賀健二、水野ごう子、鈴木慎也、鈴木六美、稲垣智嗣、高濱全也、中村芳子、杉山良次、土井千春、仲直美、神野中子、杉山良次、本多武一、中村輝彦、加藤厚司、早坂和哉、松本ゆきの、池松宣浩、阪野井智夫、安井敏子、高木豊子、北島和明、中原尚代、矢野均、〔26〕鈴木美紀、高木さつき、佐々木康恵、山口明彦、竹内真奈美、菱田敬子、河柳美代子、横山博一、安倍由枝、櫻井しのぶ、白井利明、小島英紀、本間泰志、江黒紀子、森部有、鶴見恵、藤波直子、加藤真司、大野敦史、青木敏浩、〔27〕大岡由美子、岡戸信雄、平野雅弘、宮本仁美、渡辺正隆、日比幸人、石倉美英紀、高野純美、越川知子、崎山裕子、朝日章夫、浅野純、安井文規、高橋康宏、酒井博由、〔28〕堤玉洋江、加藤誠幸、宮川佳奈子、青木喜英代、佐藤達治、近藤又彦、安藤雅彦、樋口均、後藤由香、梅村敬史、西尾久美、星辰也、鈴木浩二、加藤明、堀康浩、植村由幸、植村智美、原ゆみ子、川合在知子、山盛智広、松川ゆかり、大橋芳子、〔29〕岸勇司、松永祥子、山口義則、宇佐美葉月、岩中範嘉、牛田勝之、小林忠司、廣島淳、岡枝裕、木下由美子、岡本宏、加藤千秋、成田裕香、〔30〕前島篤子、武藤康弘、伊藤勝、野田武広、木村まみ、鈴木恵、正正、佐藤浩司、

鈴木幸美、井上香、梅村典生、野村明宏、安井公司、伊藤ルミ、櫻井佳子、桑田美希、早川龍哉、高井真樹、鈴木将之、上田麻理、大崎和也、恒川正子、〔31〕江坂泰幸、佐藤純子、渡邊一絵、大岡隆隆、山田真知子、水谷木綿子、富田由美恵、山田太郎、立松正志、山本政広、東野美恵子、朝倉弘美、拓松之、服部清一、山下幸一、河田小知、〔32〕鈴木美穂、水見秀樹、廣岡朱美、板倉進、坂本京子、山本芳彦、宮崎尚弘、安井秀美、宮崎千津子、岩間清剛、日敷大也、〔33〕鈴木明、飯田愛美、大岡友裕、齊藤美子、後藤一洋、石川浩子、福村秀代、酒井美恵、加藤亮一、横山伸二、尾関正博、林利敬、南仁史、岡田実、村山琢也、川村孝代、新美陽子、服部誠、近藤信雄、〔34〕中野伸行、原裕志、鈴木伸明、村松幹郎、木村幸太郎、関口美、片山康雄、中村仁、竹島直美、川田明典、久村貞司、小塚潤、奈須克昭、石橋尚和、〔35〕阿知波寛久、森井隆規、松尾昭二、服部展明、堀谷啓子、吉川孝清、島尾哲郎、鬼頭信一、河合祐岳、清水礼子、山田好徳、成田吉行、安井哲也、〔36〕寺尾愛子、大野恭子、大塚弘章、山田花尾里、清水幸治、小林純生、奥野絵里子、山本正和、中山智貴、加藤二、東みさ田有市、山羽徳広、原祐輔、金井知子、安田由希、不破美香、〔37〕恒川英司、新美吉郎、大賀登也、鈴木功二、布目和宏、河田益治、園田弘昭、松本万寿、柴田由美子、岡田裕美、山本真美、吉田達也、栗田香子、吉田晴美、神谷公彦、久野敦司、小坂三子代、〔38〕宮本准、草野秀雄、〔39〕伊藤知宏、鶴岡裕一、加藤弘美、井藤孝子、山内裕子、久保田あゆ、片田一朗、竹内智子、堀田理子、富田浩嗣、杉浦清彦、橋本昌弘、高橋登、井上友作、〔40〕富田邦裕、〔41〕野野元秀、松下明呼、森敬、小島淳一、西村隆史、津田亜寿美、渡辺陽子、奥野書崇、谷村明宏、古橋祐子、井上弘基、柿上理津子、高橋和之、田中よしみ、寺尾克己、上浦典子、拜郷良輔、長井康則、翠川順子、和田健作、貴田慶太郎、今井康樹、平野和行、笠間敬嗣、西保生、和田美穂、藤田抄子、島田直人、安達さやか、里野新、村上恵子、馬淵博規、〔42〕藤原泰新、新美聡子、田中泰、寺江江利子、藤村直子、河原志保、橋本真由美、黒子雅司、齋藤鈴恵、河合智代、小林繁也、白石栄史、小谷恵美、市川達也、佐藤真嗣、野村武史、〔43〕西野正男、永井千恵子、小林芳夫、池田喜一、橋本政成、天野美千代、西浜久文、伊藤喜代次、加藤伝枝、原孝文、伏木野新一郎、芹口ゆかり、〔敬称略、順不同〕